

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室[メールまたは電話])

※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名	科 目 コード	単 位 数	開 講 期	講 義 形 式
イノベーションファシリテーション特論2 Innovation Facilitation 2	Z 108	1単位	2学期	ハイフレックス
科 目 分 野	課 程 領 域			
リーダーシップ	イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メ リ ー ア ド レ ス	連 絡 方 法 / オ フ ィ ス ア ウ イ		
ムラ タカヒコ 野村 恒彦	-	メ リ ー ア ポ イ ント にて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

イノベーション・ファシリテーション特論1	企業戦略特論1	ソーシャルファシリテーション特論
スローリーダーシップ特論		

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

本科目は、イノベーションを推進する上での鍵となる、(1)「未来情報から未来の変化点を発見し、未来シナリオを作成する力」と、(2)「未来シナリオから発想し、斬新な新事業アイデアを生み出す力」を身につける。最もエキサイティングなところは、この未来シナリオを使つたイノベーションを幅広いステークホルダーと共に推進するための、強力なファシリテーション手法を同時に学ぶところである。アイデアを生み出すと同時に、ステークホルダーとの協力関係を生み出す手法は、企業が新事業を生み出すうえでたいへん役立つ考え方になる。

イノベーションファシリテーション特論1で得られる対話ファシリテーションの能力をベースにしつつ、組織を未来に導くためのシナリオプランニング方法論を使って、現状の延長ではない未来をめざし、組織や地域が全体で動いていくことを可能にする。

本科目ではまず、未来の兆しを網羅的に探索し、その中から、インパクトが大きく不確実性の高いテーマを選び出し、「あり得る未来」の複数のシナリオを描く方法論を身に付ける。さらに、未来シナリオの短時間セッションのファシリテーションスキルを身につけ、自組織で未来シナリオ作成をリードできる力を身に付ける。

最終回の授業では、未来シナリオを集合知で描き、そこから新事業アイデアを生み出すための、公開フューチャーセッションを開催する。具体的なテーマを設定し、テーマに合ったゲスト招聘、学外の参加者の招待、ファシリテーションの実践を通して、実際にイノベーションを起こす活動を体験する。このような実践的活動を通して、インパクトのある新事業を自らの手で創造できる新たなリーダーシップを持つ人材を育てる。

到達(修得)目標

シナリオ・プランニングの方法論を理解し、状況に応じて使いこなせるようになること。
組織やセンターを超えたフューチャーセッションを設計し、未来シナリオから新事業を生み出せる知識とファシリテーションスキルを体験的に学ぶこと。

受講対象者

経営戦略、IT戦略、商品戦略、マーケティング戦略、R&D戦略など、あらゆるイノベーションに関わる仕事をする、または仕事にしたい人。起業家として、社会を変えたいという志を持つ人にも、ぜひ受講してほしい。

履修上の注意事項やアドバイス

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 授業の進行や課題について、本大学院の修了生が、LA(ラーニングアシスタント)として、受講生の学習を支援する。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域(Y軸)	ヒューマンパワー(Z軸)	思考プロセス(X軸)
Y1: 基盤法令・テクノロジー	Z1: 問題発見力	<input type="radio"/> X1: 企画
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー	Z2: 独創力	<input type="radio"/> X2: 構想
Y3: グローバル法令・実務	Z3: 問題解決力	<input type="radio"/> X3: 調査・分析
Y4: マネジメント	Z4: プレゼンテーション力	<input type="radio"/> X4: 設計・開発
Y5: 戦略立案	Z5: 変革推進力	<input type="radio"/> X5: 変革
Y6: 標準化	Z6: コミュニケーション力	<input type="radio"/> X6: 導入・運用
	Z7: リーダーシップ力	<input type="radio"/> X7: 評価・検証
	Z8: ネゴシエーション力	<input type="radio"/> X8: リーガルマインド
	Z9: オーナーシップ力	<input type="radio"/> X9: ライフサイクル

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	シナリオセッション体験	ワークショップ	
2	シナリオセッション設計	グループワーク	
3	シナリオセッション実施	ファシリテーション実践	

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		
出席	10%	
プラクティカムシート	40%	毎回、事務室より出席簿を準備する。
学習プロセス(クラスでの貢献度)	50%	プラクティカムシートでは授業の進捗に合わせ課題を出し、その内容を授業内にて確認し評価する。最終レポートの提出を求め、総合的に授業の理解度を確認する。
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	「シナリオ・プランニング—未来を描き、創造する」(英治出版) 著者:ウッディー・ウェイド	
参考図書 (購入は任意・講師推薦)	「イノベーション・ファシリテーター」(プレジデント) 著者:野村恭彦	
参考 URL		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	未来思考、シナリオプランニングの理解: シナリオ・プランニングの概念を理解し、イノベーションの新たな視点として「未来思考」を獲得する。	「シナリオ・プランニング」を読み、概要を理解していく	野村	180分
	ファシリテーション演習(1):ドライビングフォースから未来を見立てる 未来思考のシナリオセッションの前半部を具体的なテーマで実践することで、手法を体験的に理解する。			
	イベント シナリオセッション体験			
3.4	ファシリテーション演習(2):バックキャスティングで未来を描く 未来思考のシナリオセッションの後半部を具体的なテーマで実践することで、手法を体験的に理解する。		野村	180分
	公開シナリオセッションの設計: 最終日の公開シナリオセッションのテーマを自分たちで決め、どんな問い合わせ立て、どんな未来シナリオから未来ビジネスを描くかを設計する。			
	イベント ファシリテーション演習			
5.6	公開シナリオセッションに向けた準備: 最終日の公開セッションの分担を決め、進め方を決める。	選定テーマについて、背景知識や洞察を集める(宿題)	野村	180分
	ファシリテーション演習:公開シナリオセッションのシミュレーション: 最終日の公開セッションの分担に沿って、模擬ファシリテーションを行う。			
	イベント ファシリテーション演習			
7.8	公開シナリオセッション:イノベーションの未来(仮テーマ) 当日は実際にファシリテーションを自分たちで行う。創造的な対話から、協調アクションが起きるアウトプットを出す。	社外参加者招待	野村	180分
	アウトプット作成(宿題) シナリオセッションのアウトプットをまとめて提出する。	課題: セッションのアウトプットを最終レポートとして作成し提出		
	イベント 公開の未来シナリオセッションのファシリテーション実践			

2026.01

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容やスケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。